

～ クレームとしてでなく、親の思いに耳を傾ける ～



相談室を訪れたお母さんは、学校（教師）への思いを2時間近く語っていきました。

「娘が学校に行きたくない」と言って3日連続で欠席した。部屋の隅っこで毛布を被って泣いている。学校で何かあったに違いない。担任の先生は何があったのか気づいているのだろうか。声をかけてくれているのだろうか。持ち帰る答案用紙は20～30点の低空飛行、学習の遅れがちな娘に勉強を教えてほしい。友達関係もうまくいっていないことがわかった。（話は続き）1年の時、勉強がわからず、課題提出もできていない状況だったので、アドバイスをもらいたくて相談に行ったが、期待していたような答えは返ってこなかった。「何でも相談にきてください」と年度初めに言っていたから相談したのに、学校の先生方は、表面的に親身になっているだけで、私の気持ちも娘のことも全くわかってくれない。……と。

母親の一方的な話であり、事実はわからない。学校は何とか一人ひとりを見て手をさしのべようとしている。毎日の学校のなかでの様子、教育相談、アンケート、様々な場面において子どもたちを見つめ、適切な対応を心がけている。しかし、それですべてが見えているわけではないことも現実である。今回の母親の相談をクレームとして捉えるのではなく、親としての必死な思いとして耳を傾けると、違うものが見えてくる。保護者のなかには、「息子はできが悪くて、先生方には迷惑のかけっぱなしだったが、個別学習指導もしていただいたと聞きました。ただただ感謝です。」と話される方もいます。親も教師も「子どもに力をつけさせたい。ひとりの人間として成長させたい。」という思いは同じ。家庭と学校で一緒に育てていくという思いが大切なことだと感じます。自戒を込めて。

「今だからこそ二人三脚で」～ より良い支援をめざして ～

今年も大詰め、残り2週間となりました。寒くなっても通級生の出席状況は良好で、ありがたく思っているところです。

冬休みを目前にして各校とも三者面談が予定されていることから、当室と所属校の情報交換の席を設けていただきました。特に3年生にとっては大事な面談になることはいままでもありません。



通級しているときの学習状況はもちろんのこと、毎回の健康観察で気がかりな生活面、何気ない普段の会話からキャッチした生徒の趣味や思いなど、先生方に伝える絶好の機会です。また、登校が常態化している生徒も、たまたま学年行事等に顔を出せた生徒のそのときの状況などを学校側から話していただき、有意義な情報交換の場になりました。特に担任の先生は家庭と連絡を取り合いながら、生徒の心を離さないようにと気配りしていることがさらに強く伝わってきました。学校もこのように努力をしているのだから、相談室は学校をもっと応援しながら二人三脚で通級生を温かく支援していかなければ、という気持ちを強くして帰ってきました。

本人たちが思い描いている卒業後の姿を現実のものにすることは、容易ではありません。日々そのことが心配なのでしょう、通級生の心は揺れています。その状況も理解しながら、担任の先生そしてさらに自分自身を信じて大事な今を乗り切っていけるようなかかわり方に力を入れていきます。

「金山町でのキャリア教育」

去る11月26日に金山町の「道草ぶんこう」と「新庄南高金山校」を訪問しました。「道草ぶんこう」は、樋口勝也氏が廃校になった旧田茂沢分校を借り受け、自身の創作活動を行ないながら地域子ども達に“ものづくり”を指導しているところです。はじめ樋口氏から10数本の塑造作品について創作への思いを伺いながら鑑賞させていただきました。また、「夢を持ちましょう」というテーマの講話では現職時代の思い出のひとつとして、教え子と共に考えた人生設計の話が印象的でした。成長する過程で一人ひとりが違ったいろいろなことを経験するのだという内容の話は、これから生きる子どもたちへの温かいエールになったように思います。

再びバスに乗り新庄南高金山校に向かいました。玄関で出迎えられ暖かい会議室での土屋教頭先生の丁寧な学校説明は、子どもたちにはちよっぴり緊張の時間でもあったようです。その後、校舎を一緒に回らせていただき、高校生の静かに落ち着いた学習の様子に、次年度の自身の姿をイメージしていたように思います。

多くの方々からお話を聞いたり、いろいろな様子を見せていただいたりすることはとても貴重な時間となりました。ご協力くださった皆様有難うございました。



新庄南高金山校の土屋教頭先生の学校説明(11/26)



制作した「クリスマスカード」と「スノーマン」(12/3)

11・12月の活動 シャイニングクラス在籍 6名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 理科、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 数学、体育 ○ 木曜日 体験活動(月2回)

◆ 体験活動⑮ 11月26日(木) 「キャリア教育Ⅲ」

金山町「道草ぶんこう」

および 新南高金山校訪問



「道草ぶんこう」の樋口氏(11/26)

◆ 体験活動⑯ 12月3日(木)

「ものづくりⅢ」

“クリスマスカード”と”スノーマン”づくり

◆ 体験活動⑰ 12月17日(木)

「おいしいお菓子づくり」

“もちもちウインナー” “ミニミニ中華まん” “マヒン”

◆ 「気楽に話し合う会」12月18日(金)

<わくわく新庄> 19:00~21:00



あ と が き

進路の話になると「何となく重たい気分になる。そう思う人は少なくないと思います。

「進路選択」の難しさは、その進路が自分に合っているかどうかなんて実際に進んでみなければ分からないからです。けれども、「進路」というのは、子どもたちがこれから進んでいく路です。将来を考えるとそれは本来明るい希望に満ちたものはずです。私たち大人は、進路選択の際の子どもたちの不安を和らげる。そんな応援をしたいものです。

「五郎丸ポーズ」や「トリプルスリー」「爆買い」などの新語・流行語が話題になった2015年も残すところ僅かとなりました。来る年が皆様にとりまして、よき年でありますことをご祈念申し上げます。

そして、この“たより”発行も重ねること100回となりました。お礼を申し上げます。

教育相談連絡先

- ダイヤルなんでも相談
TEL 23-7266
 - 適応指導教室(シャイニング)
TEL 22-2111
(内線 445,448)
- 林、小野、鈴木が担当です。